

第3次勝山市食育推進計画（案）についてのパブリック・コメント意見

| 該当資料<br>及び当該<br>ページ                            | 意見・提言等   | 市の考え方   | 修正内容   |
|--|--|---|--|
| <p>第2章<br/>これまで<br/>の取り組<br/>みと課題<br/>7ページ</p> | <p>勝山市におけるこれまでの主な取り組みと課題に3Rという文字が出てきますが、最近では、5Rになっていると言います。</p> <p>3R：ごみを削減する「Reduce（リデュース）」繰り返し使う「Reuse（リユース）」再資源として生かす「Recycle（リサイクル）」の頭文字で、環境負荷の削減が大きい順に並んでおり、1991年制定の「リサイクル推進月間」が前身で、2002年に優先度が高い二つのRを加え現在名に改められたそうです。</p> <p>しかし、最近では否定する「Refuse（リフューズ）」と修理する「Repair（リペア）」が仲間入りし「5R」になったそうです。具体的には、不要なものはもらわない、レジ袋や過剰な包装は断る、衣服や家具、道具類は補修して長く使う。要は使い捨て、大量消費の見直しです。</p> <p>第2次勝山市食育推進計画においては、3Rでよかったのかもしれませんが、第3次勝山市食育推進計画において、5Rをどこかに記載するべきだと思いますので、検討をお願いします。</p> | <p>平成20年に策定した「勝山市食育推進計画」、平成24年に策定した「第2次勝山市食育推進計画」においては、「食品ロス」の減量化を目指し、家庭での食べきりなどをアピールする記事を市広報に掲載したり、公共施設にチラシやポスターを掲示して、市民に対して食べきり運動や3Rの実践に向けた意識づけを行いました。</p> <p>その結果、食べ残しや食品の廃棄を減らす努力をしている市民の割合が38%（平成23年度）から42%（平成28年度）に増加しました。第3次勝山市食育推進計画においても、上記の取り組みを継続、発展させ、食べ残しや食品の廃棄を減らす努力をしている市民の割合の増加を図っていきたいと考えています。</p> | <p>第3章<br/>食育推進の<br/>基本的な考え方<br/>21ページに「5R」を記載します。</p> |